

### 横浜市のカジノ誘致表明に断固反対！

#### ◆争点隠しからの「だまし討ち」

林文字市長は、カジノを含む統合型リゾート（IR）の横浜市への誘致を8月22日に表明しました。

市長は確かに当初は、カジノは横浜の「持続的な発展のために必要」と誘致に前向きでした。

しかし、2017年市長選の前には、地元企業グループや市民団体からの反発を受けて、「白紙状態」と宣言、争点化を避けました。

今回の表明は、横浜市民に対して十分な説明もないうまま、不誠実極まりない「だまし討ち」です。

秋の国会でカジノ委員会設置を決める前の駆け込み表明でもありません。

私たち立憲民主党神奈川県連合は同日午後、「カジノを含む統合型リゾートの横浜市への誘致表明に断固反対する声明」を発表しました（写真）。



衆議院議員あべともこ  
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
当選7回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長  
現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592



8月22日県政記者クラブにて

#### ◆福島教訓は生かされたのか

福島第一原発事故から8年。その教訓を踏まえ、大規模事故が起きたときの被ばく低減の防護案が国際機関から発表され、意見募集が始まっています。ところが発表も募集も英語のみ。そこで22日には日本語解説を原子力規制庁にさせ、ネットメディアが中継。日本の市民の働きかけで、日本語で意見を出せることにもなりました。今回の防護案とは、平時の一般住民の被ばく限度が、事故が起きたら、その数倍から100倍になっても許されるといいます。私たちが得た教訓は、津波・地震対策や避難計画もないうまま原発を動かしてはいけないということ。その根本を踏まえた防護案になるよう、日本政府に対し、福島教訓の世界への発信を求めなければなりません。